

第15回

包装材料セミナー

—サステナブル社会に向けたプラスチックリサイクル最新動向—

日時：令和2年1月31日(金)
 会場：富士ソフト アキバプラザ セミナールーム1
 主催：公益社団法人日本包装技術協会

ご参加の
お勧め

近年包装材料には、多様化する消費者ニーズから、高機能化・高付加価値化・コスト競争力が求められ、単に内容物の保護だけでなく、加工性から使い勝手、廃棄性等総合的な性能が必要とされています。こうした状況に対応すべく、当会では、日々進化する包装材料の最新動向と今後の展開、業界情報等をご紹介します「包装材料セミナー」を開催しております。
 第15回目の今回はサステナブル社会に向けて包装業界の対応として、リサイクル技術、リサイクル対応型包材等の国内外の最新動向をご紹介します。今後環境に関わる課題の解決がより一層求められることが予測されます。
 どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

プログラム

時間	講演内容	講師
9:50 ▼ 10:50	<p>◆「BASFによるサステナビリティへの取り組み - “ChemCycling” 循環型プラスチックエコノミーに向けた新手法」</p> <p>BASFは創立して150年以上経ち、現在、売上、事業規模ともにグローバル化学企業として活動を続けています。「今までとは違うBASF」をお客様に体験していただく事を最重要課題に、サステナビリティを新しい企業戦略の根幹に据え、野心的な非財務目標とともに掲げています。持続可能な開発目標(SDGs)を2015年9月の国連で定められる前より検討を重ねてきたサステナビリティへの取り組み、ChemCyclingを紹介いたします。</p> <p>** BASFのご紹介 ** 新しい企業戦略と目標 ** BASFのサステナビリティへのコミットメント ** 持続可能な将来のための、“ChemCycling”</p>	<p>BASF East Asia Regional Headquarters Ltd. Senior Manager Regional Marketing, Polymer Dispersions for Architectural Coatings, Dispersions & Resins Asia Pacific Raupp, Nikolaus (Dr.) ラウプ ニコラウス(Dr.)氏</p> <p>コーディネーター 凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 ビジネスイノベーションセンター開発本部 第一開発部 課長 香川 幸子 氏 (株)クラレ エパール事業部 品質・技術統括部長 田井 伸二 氏</p>
11:00 ▼ 12:00	<p>◆「『PLANTIC』と『エパール』の最新動向と環境・リサイクル対応型包材への適用」</p> <p>(株)クラレのガスバリア材料である「PLANTIC」と「エパール」の環境・リサイクル対応型包材への適用事例について紹介する。 「PLANTIC」はバイオマス由来かつ生分解性を有するガスバリア材である。 本講演では基本的な使われ方、加工方法、用途事例、開発動向に加え、北米での取り組みや豪州でのリサイクル事例について紹介する。 EVOH「エパール」は最高レベルのガスバリア性を有する熔融成形、二次加工可能なプラスチック材料であり、食品包材、工業用途など様々な用途に使用されている。「エパール」はその優れたガスバリア性を活かし、内容物の賞味期限・消費期限延長による食品ロス削減にも貢献している。 本講演では「エパール」を使用した包材の環境適性について、海外事例を交えながら紹介する。</p>	<p>株式会社クラレ エパール事業部 フィルム販売部 フランティックグループ リーダー 片倉 剛志 氏</p> <p>エパール事業部 品質・技術統括部 技術サービスグループ リーダー 黒崎 一裕 氏</p> <p>コーディネーター 東洋製罐(株) テクニカルセンター 基盤技術開発部 プラスチック素材開発グループ グループリーダー 宇田 大輔 氏 雪印メグミルク(株) ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室 永平 竜博 氏</p>
12:00▶12:50	◆昼食休憩・講師への質問用紙回収	
12:50▶13:20	◆講師への質問会	講師+コーディネーター
13:30 ▼ 14:30	<p>◆「環境型社会の実現に向けたプラスチック製容器包装のリサイクル技術の開発」</p> <p>海洋プラスチック問題は海洋の生態系や人の健康にも影響を及ぼしかねない喫緊の課題であり、2019年6月のG20大阪サミットでは「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有され、2050年までに追加的汚染をゼロにするという目標に向かって、各国が協調して実効的な対策を推進することが決定した。海洋プラスチック問題に対して、業界ではモノマテリアル化によるマテリアルリサイクルの促進、生分解性プラスチックの活用、紙への代替などの対策が進められている。 本講演では、ヴェオリア・ジェネッツ社と共同開発中の、従来包材が持つ機能を損なわずにインキを取り除いて、プラスチックを着色のない状態で取り出して再利用することが可能となるマテリアルリサイクル技術を紹介する。また、日本などサーマルリサイクルの比重が大きい地域でCO₂排出量削減に貢献するバイオマスインキの開発についても紹介する。</p>	<p>東洋インキ株式会社 第二技術本部 本部長 安田 秀樹 氏</p> <p>コーディネーター ユニチカ(株) 包装フィルム営業部 市場開発グループグループ長 大暮 貴良 氏 (株)明治 技術研究所 包装技術研究所 包装技術G 大平 祐歌 氏</p>
14:40 ▼ 15:40	<p>◆「テラサイクルの新たな挑戦—廃棄物ゼロ実現する循環型ショッピングプラットフォーム「Loop」」</p> <p>「捨てるという概念を捨てよう」というミッションを掲げ、世界21ヶ国で廃棄物問題に取り組んでいる米国発のソーシャルスタートアップ、テラサイクルは、2019年に新たな挑戦として革新的なサーキュラーショッピングシステム「Loop」を世界経済フォーラムにて発表。Loopは、従来使い捨てにされていた一般消費財や食品の容器を繰り返し利用可能な耐久性の高い素材に変え、使用後は消費者の自宅から容器を回収し、洗浄、補充した上でリユースをするという新しいショッピングプラットフォームだ。パッケージのリユースにより、メーカーは各ブランドのパッケージを優れたデザインと機能を備えたものへと進化させることができ、短期的には高価なパッケージにはなるものの、長期的にはコスト削減が期待できる。また、消費者は使い終わった容器をLoop専用の配達用パックに入れておけば自宅まで回収しに来てもらえるので、現在の便利なライフスタイルを壊さずとも環境に優しいサステナブルな消費を実現することができる。このLoopのプラットフォームにはP&G、味の素、サントリー、キッコーマンといった日本を代表する消費財メーカーをはじめ、欧州の小売大手カルフルー、テスコ、米国のウォルグリーン、クロガーといった小売業者ら、そして日本からはイオンが参画を表明しており、サーキュラーエコノミーへの移行を進めたい企業らが一堂に会する一大イベントとなっている。2020年秋のLoop日本導入にむけた最新の動向をご紹介します。</p>	<p>テラサイクル ジャパン アジア・リージョナル・マネージャー エリック カワバタ 氏</p> <p>コーディネーター マースジャパンリミテッド アジア太平洋地域 研究開発部 パッケージマネージャー 大橋 敬史 氏 アサヒ飲料(株) 研究開発本部 技術研究所容器包装グループグループリーダー 張 義宏 氏</p>
15:40▶16:00	◆休憩・講師への質問用紙回収	
16:00▶16:30	◆講師への質問会	講師+コーディネーター

講師のご紹介

Raup, Nikolaus (Dr.) (ラウプ ニコラス(Dr.)) 氏
 BASF East Asia Regional Headquarters Ltd. Senior
 Manager Regional Marketing, Polymer Dispersions for
 Architectural Coatings, Dispersions & Resins Asia Pacific

【ご経歴】
 ドイツのボン大学にて経済学を専攻。在学中に慶應義
 塾大学に留学し、日本語を習得。卒業後、デュイスブル
 グ・エッセン大学にて科学マネジメントの博士号を取
 得。並行してバイオテクノロジーの事業会社の資金調達
 に関する研究をドイツ日本研究所にて実施。その後、信
 用審査コンサルタントを経て、ドイツバイオテクノロ
 ジー企業協会の事業企画業務を携わり、2011年より
 BASFの内部監査部門に勤務。
 2015年よりアジア・パシフィック&ビグメント部門での
 グローバル・サステナビリティマネージャーとして、塗
 料、包装材料業界に対し、バイオマスバランスコンセ
 プトの市場への導入に尽力。培った再生可能原料由来商品
 の上様、多種多様な会社との協働の経験をもとに、
 2018年より、BASFアジア地域統括本部のある香港へ
 出向し、アジア・太平洋地域での塗料業界におけるサ
 テナビリティやイノベーションを生み出すべくマーケ
 ティング業務に現在従事中。
 (資格・著書)アジア・ヨーロッパ地域における大学、各
 種国際会議にて講演経験あり

片倉 剛志(カタクラ ツヨシ) 氏
 株式会社クラレ エパール事業部
 フィルム販売部 ブランディックグループ リーダー

【ご経歴】
 岡山大学 経済学部 卒業
 1990年 株式会社クラレ入社 グラフノー販売部で
 主に靴資材の販売に従事
 1997年 エパール事業部に異動、エパールフィルム販
 売、新規開発に従事
 2015年～現在 同事業部でPLANTICの東アジア地域
 Sales & Marketing に従事

黒崎 一裕(クロサキ カズヒロ) 氏
 株式会社クラレ エパール事業部
 品質・技術統括部 技術サービスグループ リーダー

【ご経歴】
 2004年 京都大学大学院工学研究科材料化学専攻
 修了
 2004年 株式会社クラレ入社 エパール研究開発部
 にてパリア材料の研究開発に従事
 2010年～現在 エパールの技術サービスに従事 (5
 ち2017年はEVAL Europe社出向)
 包装専士

安田 秀樹(ヤスタ ヒデキ) 氏
 東洋インキ株式会社 第二技術本部
 本部長

【ご経歴】
 1990年 東洋インキ製造(株) 入社
 2002年 東洋インキ製造(株) グラビア事業部 研究開
 発課 課長
 2009年 東洋インキ製造(株) P&P事業本部 技術1
 部 部長
 2012年 東洋インキ(株) コンバーティング技術統括
 部 統括部長
 2014年 東洋インキ(株) 技術センター コンバーテ
 イング技術本部 本部長
 2016年 東洋インキ(株) 経営本部 品質保証部 部長
 2019年 東洋インキ(株) 開発本部 本部長
 現在 東洋インキ(株) 第二技術本部 本部長

エリック カワバタ 氏
 テラサイクル ジャパン
 アジア・リージョナル・マネージャー

【ご経歴】
 東京大学大学院法学部研究室研究員、モルガン・スタン
 レー及び、ドイチエバンクの法律顧問、民営化、コーポ
 レーション・ファイナンスチームリードを担う投資銀行役員を
 経て、カーボンフリー・コンサルティングでのポリアスファ
 ードワークをきっかけに、サーキュラー・エコノミーやサステ
 ナビリティの業務に10年以上従事。地球温暖化による
 影響で沿岸海水温が上昇したことで生じるサンゴ礁白化
 現象を目の当たりにし、沿岸海水温上昇抑制を研究する
 目的で非常利プロジェクト Ocean Green
 Association を2009年に協同設立。2013年より
 TerraCycle の一員となり、2014年にアジア初となる
 TerraCycle Japan を設立。2016年にアジア・パシフ
 イック地域の統括責任に就任し、2016年に
 TerraCycle China、2017年には TerraCycle Korea
 を設立。現在、大手消費財メーカー、小売業者、都市、施設
 と協働し、使用済みパッケージから、一般消費製品の空き
 容器やパッケージ、たばこの吸い殻、まで、従来廃棄され
 埋立地や焼却所にとどり蓄積しかかった廃棄物を回収
 しリサイクルする事業を展開している。2020年には循環
 型ショッピングシステム[Loop]を日本に導入予定。

開催要領

日時: 令和2年1月31日(金)
 会場: 富士ソフト アキバプラザ セミナールーム1
 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル6F
 参加費:

1名分参加費 (配布資料代含む)	会員	会員 (3名割引1名あたり)	一般
本体	19,000円	15,000円	26,000円
消費税10%	1,900円	1,500円	2,600円
税込合計	20,900円	16,500円	28,600円

定員: 100名

お申し込み方法

- 本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
 協会HPからのお申し込みも出来ます。
 協会HP: <http://www.jpri.or.jp>
- 申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。
- 開催1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。申込みされた方が
 ご都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。
 (当日、名刺をご提出いただきます。)

【個人情報の取り扱いについて】

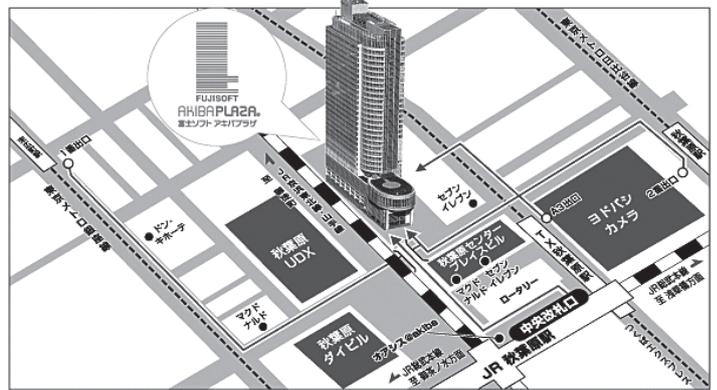
1. 個人情報は「第15回包装材料セミナー」の事業実施に関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

会場案内図

富士ソフト アキバプラザ セミナールーム1
 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル6F

交通アクセス

- JR線秋葉原駅 中央改札口より徒歩2分
- つくばエクスプレス線 秋葉原駅 A3改札口より徒歩1分
- 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 2番出口より徒歩4分



お問い合わせ並びにお申し込み先

公益社団法人日本包装技術協会 包装材料セミナー係 担当: 竹内
 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970 e-mail: takeuchi@jpri.or.jp

第15回包装材料セミナー(1月31日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内 行 FAX.03(3543)8970 No.

会社名					
所在地	(〒)				
電話			FAX		
参加者名	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	